

目次

1. News
2. 活動成果と計画
3. 目標達成進捗
4. 活動紹介
5. センター・メモ

News

ポストドクター全員がインターンシップ開始 (7/1)

本年度に高度人材育成センターにて採用したポストドクター6人全員が、企業へのインターンシップを開始しました。企業で働いた経験のない皆さんですが、新たな挑戦として決意に満ちています。暖かく見守るとともに叱咤激励をお願い致します。



新商品サンプル作成に取り組む (H25 年度)

活動成果

- **インターンシップ事前研修 (4/2~6・26)**
社会人として、そして企業人としてのマナーと知識を修得するためのカリキュラムを PD 全員が皆勤にて無事に終了いたしました。
- **企業見学会 (4/23~5/16)**
PD はインターンシップ受入企業や先進技術企業を訪問し、現場を肌で感じ自分の将来へのイメージが膨らんできました。
- **センター会議 (4/25、5/23、6/25)**
事前研修や先輩交流会・留学生のための日本の社会保障制度講座などの実施内容を事後評価し、企業の求めにより合致した内容にするため話し合いました。
- **社会活動 (5/7~6/26)**
地域支援組織のご協力を得たボランティア活動を通じ、現場での PD のコミュニケーション力の向上に務めてきました。PD は、自身の優れた英語力や調査力などに基づき、新たな提案や改善ができ、これに対して支援組織の方からも評価して頂きました。
- **運営委員会 (5/23)**
平成 27 年度ポストドクター・キャリア開発事業養成者募集について審議され、6 名以上の採用をすることが決定されました。

活動計画

- ◆ **平成 27 年度ポストドクター公募 (8/1~9/17)**
平成 27 年度に企業への就職を目指すポストドクターの採用募集を公募いたします。応募者の選抜面接を 9 月 24 日に予定しています。
- ◆ **運営委員会 (9/26)**
平成 26 年度ポストドクター採用選抜の結果にて、採用者の決定を致します。
- ◆ **センター会議 (7/25,8/22,9/26)**
大学改革の一つとして、人材育成のあり方を学生や教職員の意識変革への取り組みの視点で話しあう予定です。
- ◆ **講演会 (9 月~10 月に予定)**
就学と就職に詳しい方をお招きし、賛同企業の皆様や学生・教員を対象に講演会を開催いたします。ご期待ください。



ボランティア報告会で、活動を通じて感じた「ボランティアとは」と、収集した「街情報」や改善項目などの成果を発表しました。

目標達成進捗

目標と実績（平成 26 年 7 月 1 日現在）

| 区分 | | 1 年目 (H23) | 2 年目 (H24) | 3 年目 (H25) | 4 年目 (H26) | 5 年目 (H27) |
|---------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 採用者 | 目標 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| | 実績 | 3 | 7 | 6 | 6 | |
| インターン シップ | 目標 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| | 実績 | 3 | 6 | 7 | 6 | |
| 就職者 (内定含む) | 目標 | 3 | 4 | 5 | 6 | 6 |
| | 実績 | 2 | 6 | 7 | | |
| 賛同企業 (累積数) | 目標 | (18) | (35) | 50 | (65) | 80 |
| | 実績 | 36 | 65 | 91 | 93 | |



4 年目も順調に推移しています。皆様のご協力に感謝致します。

活動紹介

現場を知る 世界を知る

インターンシップ受入表明企業と先進技術企業の見学会を開催いたしました。インターンシップ受入表明企業では、企業の特徴や PD の皆さんに期待することなどを伺うと共に、今後仕事をするかもしれない現場を見学させていただきました。先進技術企業見学では世界 No.1 の技術を拝見することが出来ました。長年培われた先輩の足跡の上に現在があり、今の人達の努力が将来を作ることを目の当たりにすることが出来ました。ご協力頂きました企業様には深く感謝いたします。ありがとうございました。

多文化共生体験として、いろいろな国の料理の調理と試食を通じて交流をはかりました。調理は難しいところもありましたが、最後は皆さんおいしく頂きました。楽しいひと時でした。



センター・Memo

政府は、デフレ脱却からの経済浮揚を目指し、様々な政策を実行しています。大学も、産業に役立つ質の高い科学技術人材の養成に取り組んでおります。文部科学省は、平成 26 年度からの新規事業として「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築」の公募を開始しました。この事業では、複数の大学等でコンソーシアムを形成し、企業等とも連携して若手研究者や研究支援人材の流動性を高めつつ、安定的な雇用を確保しながらキャリアアップを図る仕組みを構築するものです。このような、科学技術人材の出口戦略は、今後の強靱な産業構造創出のキーワードになると考えられます。



NHK の朝ドラで放送中の「花子とアン」の撮影が 3 月に本校の記念館で行われました。静かになった講堂です。